

新旅足橋で350人のウォーキング



時折冷たい風が吹くもののまずまずの晴天に恵まれた3月28日の土曜日、新旅足橋近隣地域の350名を超える方々に、中央で連結したことを記念して、橋の上をウォーキングしていただきました。

日本でも有数の長大橋が、日々の暮らしの中で利用できる日が間近であることを、自分の足で実感していただけたことと思います。

現場見学会フォトグラフ

八百津側の橋の入口で、まずは受付を！（写真右）



1
両岸の連結部分はまだ工事が残っています。



橋の長さは460m。往復すると1km近くなります。
(八百津側より、潮南側を望む)



潮南側のトンネル手前連結部分
(工事中)



(潮南側より八百津側を望む)



橋面上に作られたやぐら



八百津側の連結部分
(工事中)



鷲ヶ峰トンネルの中まで続く、見学者の車の列

前日はこの時期にはめずらしいみぞれ混じりの天気で、9時から始まったこのイベントも、初めのうち冷たい風にさらされて、冬の工事の厳しさを実感できるくらいの寒さでした。それでも徐々に風も和らぎ暖かさも感じられるようになり、参加者の方々は、谷底からの高さが200mもある橋面上から、さらには橋の上に組まれたやぐらの上から、周りの景色を楽しんでみえました。